

森林の多面的機能の組み合わせに着目した森林教育プログラムの開発

山本清龍・坂上大翼・柴崎茂光・田中延亮・広嶋卓也・堀田紀文(東大農)

社会背景と学術の動向

- ・地域の自然環境に対する意識の向上
- ・学校五日制の導入
- ・日本学術会議答申(2001年)
「農業と森林の多面的機能」
- ・ヨハネスブルグサミット「教育の十年」
- ・環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律(2003年)

研究対象地 - 富士山

研究拠点 - 東京大学富士演習林



目的

- 分野横断的な視点から森林が持つ多面的機能の基礎情報を測定
- ・整理すること
- 環境教育における解説や理解を助けるための森林教育プログラムの開発を行うこと

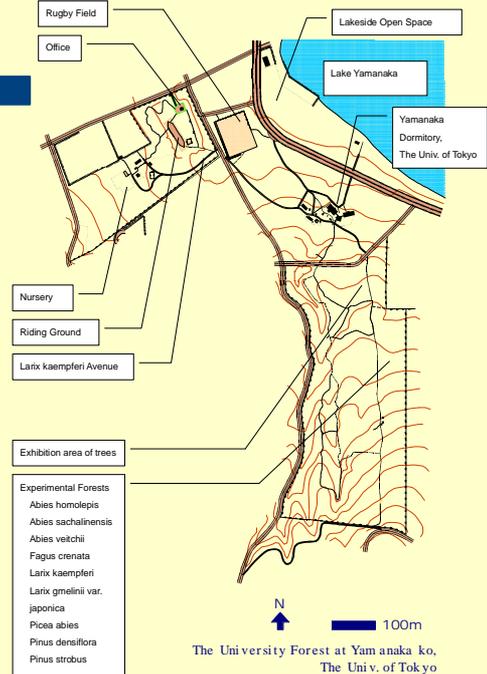
テキスト

開発方法 - 森林の多面的機能に関する機能分野

- ・保健文化機能
 - ・生活環境保全機能
 - ・水源涵養機能
 - ・木材等生産機能
 - ・山地災害防止機能
- (5機能6研究分野)

プログラム構造 - モジュール型

- ・解説者の応用性
- ・プログラム参加者の比較選択性
- 教育効果把握



森林教育プログラムの作成過程における主要な論点

- 1) テキストの構造的性
 - ・情報の階層性
 - ・モンテリオールプロセスなど
- 2) テキスト掲載用語
 - ・教育従事者
 - ・初等中等教育課程の子供たち
- 3) 教育学分野との協働

プログラム



020711富士山と山中湖



030721富士山泉が滝付近登山道

